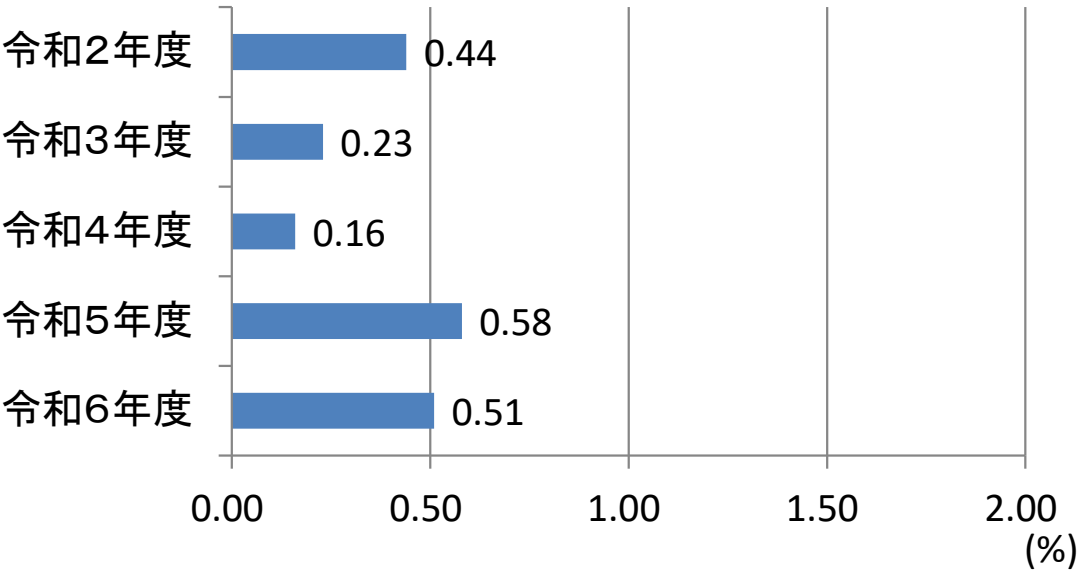


30 手術あり患者の肺塞栓症の発生率

解説	肺塞栓症は血栓(血のかたまり)が肺動脈に詰まり,呼吸困難や胸痛を引き起こす疾患であり,程度によっては死に至る場合もあります。長期臥床や骨盤部の手術後に発症することが多いです。エコノミークラス症候群も肺塞栓症の一種ですが,入院中においては適切な診療により,かなりの部分が予防可能です。												
実績	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発生率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>0.51</td> </tr> </tbody> </table>	年度	発生率 (%)	令和2年度	0.44	令和3年度	0.23	令和4年度	0.16	令和5年度	0.58	令和6年度	0.51
年度	発生率 (%)												
令和2年度	0.44												
令和3年度	0.23												
令和4年度	0.16												
令和5年度	0.58												
令和6年度	0.51												
定義	肺塞栓症リスクの高い患者に対する,肺塞栓症の発生率(%)です。												